

# 観光の現状と取組について

---

# 我が国が持つ「観光先進国」への可能性

気候

自然

食

文化

日本という国は、「観光立国」として非常に重要な4つの要素である「気候」「自然」「食事」「文化」をすべて兼ね備えた世界でも希有な国

「新・観光立国論」デービッド・アトキンソン（小西美術工藝社代表取締役社長）

「気候」 スキー・ビーチリゾートを楽しめる風土



「自然」 手つかずの自然、山岳、豊富な動植物



「食」 世界文化遺産の「和食」、質の高い洋食



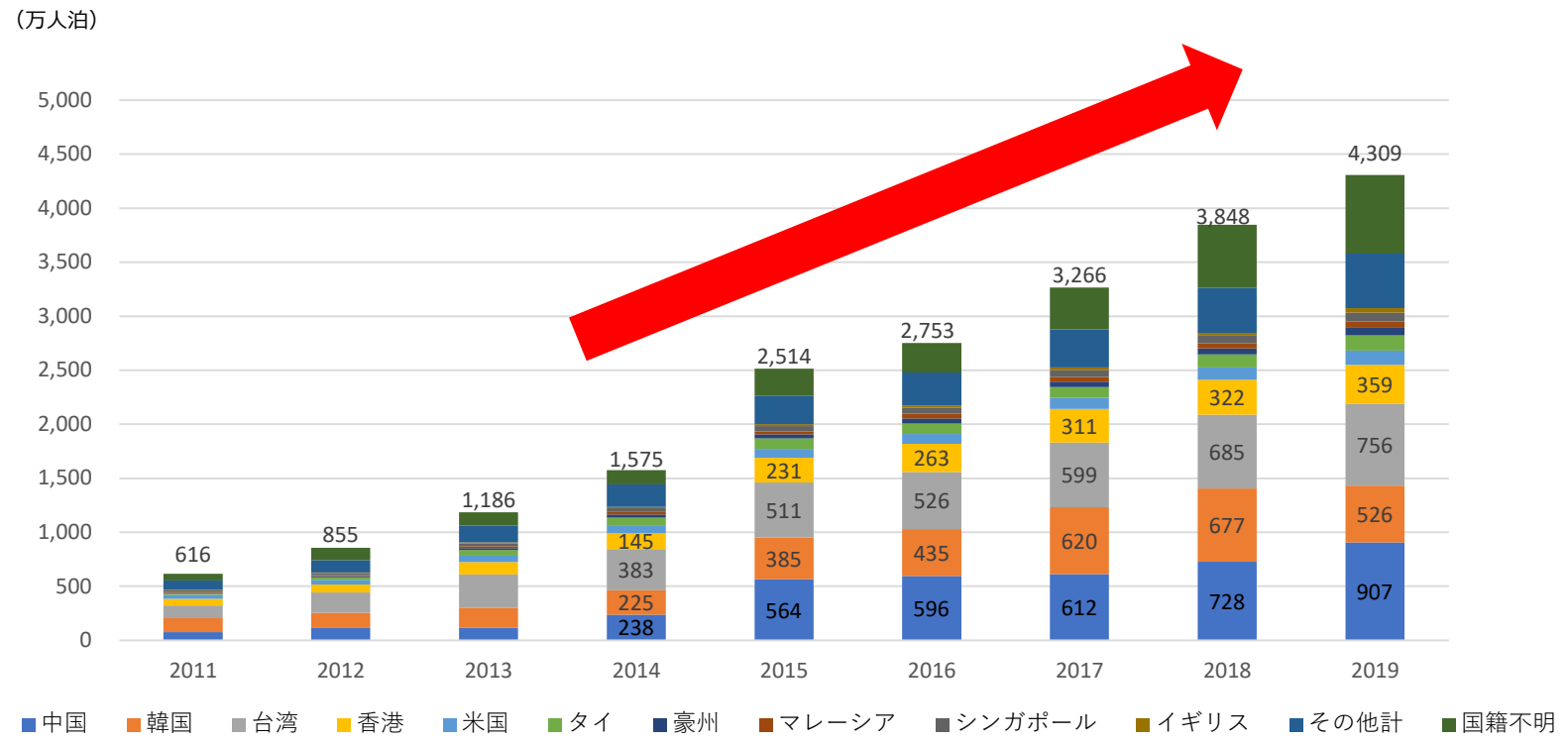
「文化」 和の伝統文化、現代文化



# 訪日外国人旅行者の地方部における延べ宿泊者数

○ 地方部における訪日外国人旅行者の延べ宿泊者数は、近年、東アジア諸国を中心に着実に増加し、2019年には約4300万人泊に上る。

【 訪日外国人の地方部における延べ宿泊者数 】



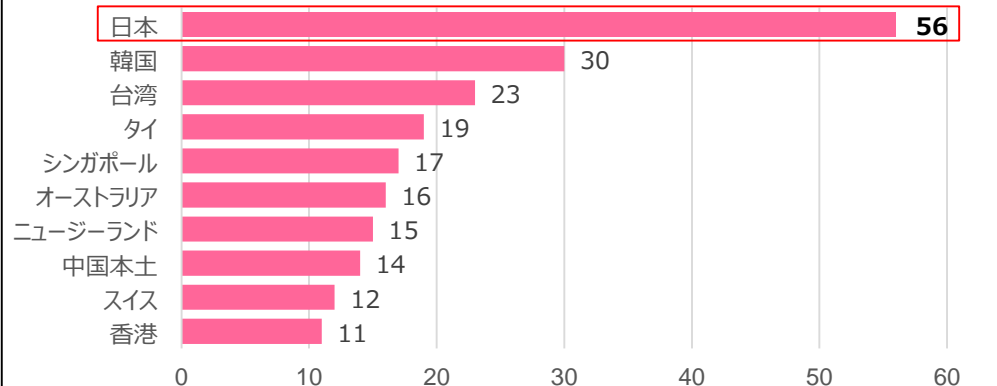
出典) 宿泊旅行統計調査 (観光庁) より作成

\* 地方部とは…三大都市圏以外の道県をいう。  
 三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。

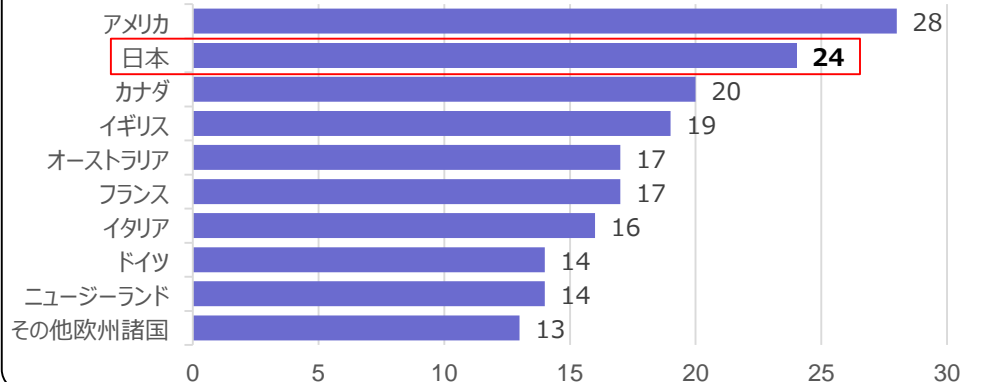
○ 新型コロナウイルス禍においても訪日意欲は高く、終息後には我が国の公衆衛生レベルの高さが大いなるセールスポイント。

## 新型コロナ終息後に観光旅行したい国・地域

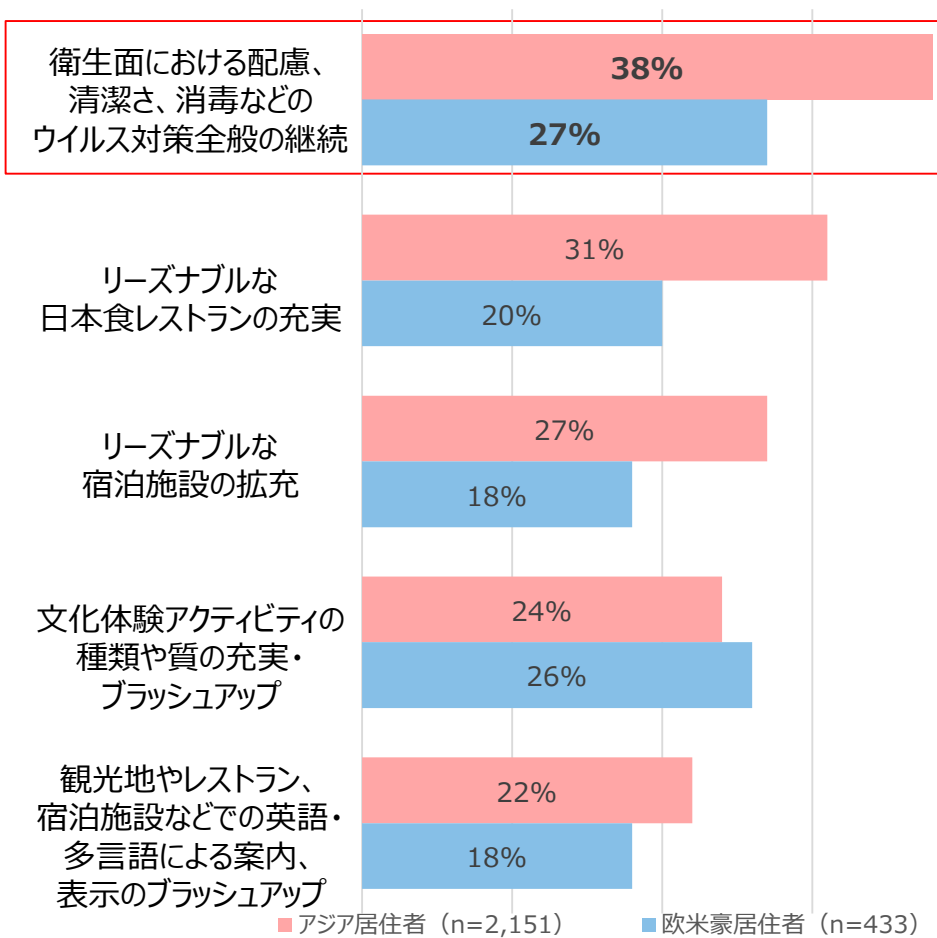
アジア居住者 (n=3,822)



欧米豪居住者 (n=1,840)



## 新型コロナ終息後の訪日旅行全般に期待したいこと



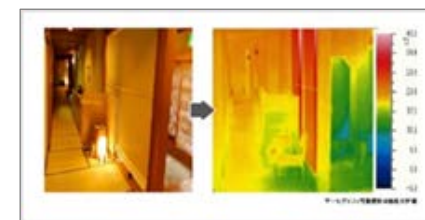
観光産業は、新型コロナウイルス感染症の影響により大変深刻なダメージを受けていることから、

①新型コロナウイルス感染症拡大防止、②事業の継続と雇用の維持、③観光需要の回復、新たなビジネスモデルの構築

の3点について、関係省庁と連携して重点的な支援を実施。

## ①新型コロナウイルス感染症拡大防止

- ・旅行者視点で感染防止のための留意点をまとめた「新しい旅のエチケット」の作成、周知
- ・観光施設や宿泊施設における感染症拡大防止対策支援(サーモグラフィ導入支援等)



サーモグラフィー又は非接触型体温計の導入

## ②事業の継続と雇用の維持

- ・雇用調整助成金の要件緩和、継続
- ・持続化給付金制度の創出
- ・NHK受信料の減免
- ・実質無利子無担保融資の拡充
- ・中小企業経営力強化支援ファンドの創設

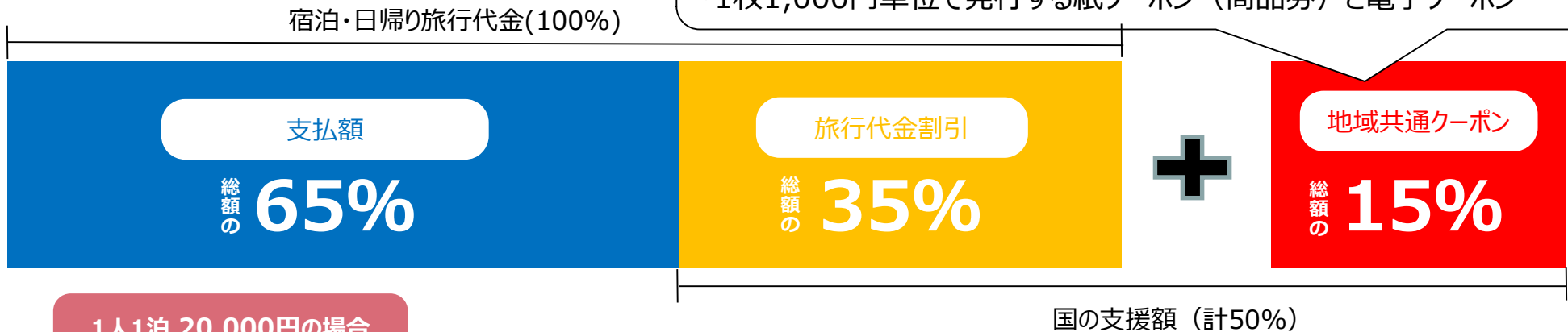
## ③観光需要の回復・新たなビジネスモデルの構築

- ・Go Toトラベル事業(令和2年度一次補正:約1兆3500億円)
- ・ポストコロナ時代の観光の実現 ①観光産業の高付加価値化  
②観光地の受入環境整備等

**失われた旅行需要の回復**と旅行中における**地域の観光関連消費の喚起**を図り、**ウィズコロナ時代における「安全で安心な旅のスタイル」を普及・定着**させる。

- **国内旅行**を対象に宿泊・日帰り旅行代金の**35%**を割引（7月22日から開始）
- 加えて、宿泊・日帰り旅行代金の**15%**相当分の**旅行先**で使える**地域共通クーポン**を付与（10月1日から開始）
- 国の支援額（旅行代金割引＋地域共通クーポン）は、1人1泊あたり**2万円が上限**（日帰り旅行は、**1万円が上限**）
- 1回の旅行で**7泊分まで**を支援の対象。

・旅行先の**都道府県＋隣接都道府県**の土産物店、飲食店、観光施設、アクティビティ、交通機関などにおいて、**旅行期間中**に限って使用可能  
・1枚1,000円単位で発行する紙クーポン（商品券）と電子クーポン



1人1泊 20,000円の場合



20,000円の旅行商品を選ぶ



支払額は13,000円  
(旅行代金割引は7,000円)



地域共通クーポンによる還元  
3,000円 (旅行代金の15%)

# Go To トラベル事業のこれまでの経緯

- ・ 7月10日（金） 大臣会見：支援対象旅行開始時期公表（7/22よりスタート）
  - ・ 7月16日（木） コロナ分科会：東京都を発着する旅行を除いて事業開始の案を了解
  - ・ 7月17日（金） 大臣会見：東京都を発着する旅行を除いて事業開始する旨公表
  - ・ 7月21日（火） 大臣会見：キャンセル料の取扱い等について公表
  - ・ 7月22日（水） Go To トラベル事業開始
  - ・ 7月27日（月） 事業本格開始（割引旅行商品販売開始）
- 
- ・ 9月 4日（金） コロナ分科会：地域共通クーポン開始時期の案を了解
  - ・ 9月 8日（火） 大臣会見：地域共通クーポン開始（10/1～）、取扱店舗登録申請受付開始
- 
- ・ 9月11日（金） コロナ分科会：感染状況を見極めつつ、10月1日（木）より東京発着の旅行について支援の対象にすることについて了解
  - ・ 9月18日（金） 大臣会見：東京を発着する旅行について、正式に販売を開始して頂く旨、公表（9/18正午～）
  - ・ 10月1日（木） 地域共通クーポン開始、東京発着の旅行を支援対象に
  - ・ 11月24日（火） 大臣会見：札幌市と大阪市を目的地とする旅行について、一定期間事業の適用を停止することを決定
  - ・ 11月27日（金） 第48回新型コロナウイルス感染症政府対策本部  
：札幌市と大阪市に居住する方々に対し、一定期間事業の利用を控えるよう呼びかけ



## 参加事業者

- これまで、各地方運輸局等が、**8月中に合計100弱**の宿泊施設に出向き、**感染拡大防止対策の状況**を調査。
- **9月7日より、登録された全ての宿泊施設を対象**として、**感染症拡大防止策の実施状況について、実地調査**を行い、感染拡大防止に係る参加条件を満たしていない場合には、**必要な指導・助言**を実施。
- 調査を行った23,245施設において、**旅行者への検温の実施や客室の清掃・消毒等の感染防止対策、飲食施設等の三密対策は9割以上の施設において確実に実施**されていた。
- 感染リスクが高いと考えられる**ビュッフェの対策が不十分であった施設や調査項目のうち半数以上について取組が不十分であった施設などを対象**として、速やかに二次調査を実施。

## 旅行者

- これまで、旅行者に対して、**旅行会社・宿泊施設での申込時・チェックイン時における配布・掲示、各種HPでの掲載等**により、Go To トラベル利用者の「遵守事項」について周知・徹底を行ってきた。
- さらに、旅行中にスマートフォン等での閲覧を容易にするため、「**新しい旅のエチケット**」や「**Go To トラベル利用者の「遵守事項」**」の動画を9月10日よりYou Tube等で公開。
- 旅程場面ごとに更にわかりやすいものとするため、「新しい旅のエチケット」について、見直し・充実を図り、9月29日にリリース。**観光関連事業者及び交通事業者において、各社のHPへの掲載、公式SNSでの配信、空港・駅等のサイネージでの配信、機内・車内での配信など積極的な周知にご協力頂いているところ。**

Go To トラベル利用者の「遵守事項」に関する動画（一部抜粋）



感染拡大を防ぐため、  
スマートフォンを利用されている方は、  
旅行前に接触確認アプリを  
インストールしておきましょう。



期間

7月22日~10月31日

利用人数

※一部推計値含む

少なくとも約3,976万人泊

一人泊当たり割引支援額

約4,743円

割引支援額

※一部推計値含む

少なくとも約1,886億円

地域共通クーポン付与額

少なくとも約201億円

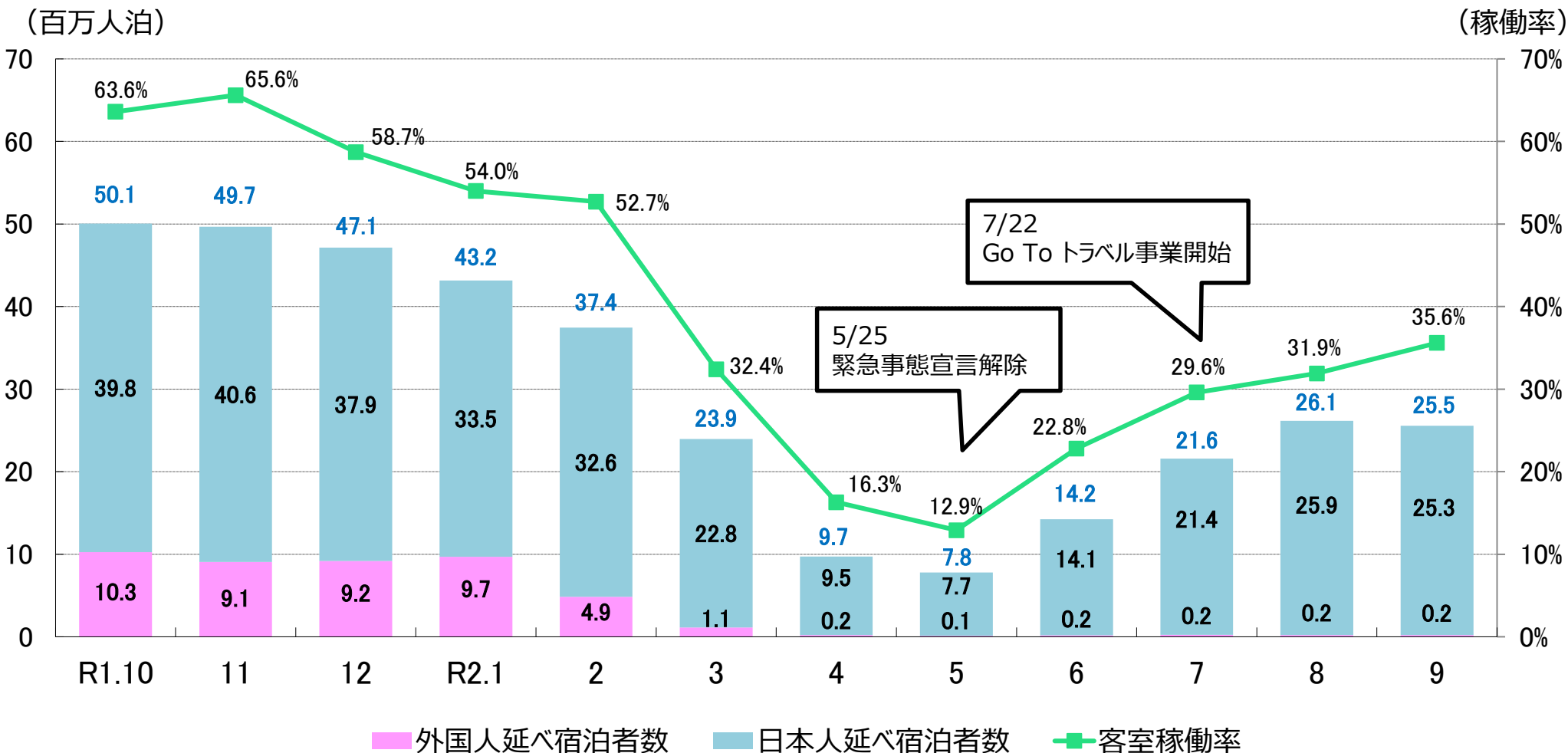
(10月1日~11月9日)

一人泊当たり旅行代金

約13,553円

# 延べ宿泊者数・客室稼働率の推移

○ 国内の延べ宿泊者数及び客室稼働率は、5月25日の緊急事態宣言解除以降、旅行意欲の高まりやGo Toトラベル事業の実施、各自治体によるキャンペーンによって、回復傾向にある。



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

注：令和2年1月～8月の数値については第2次速報値であり、令和2年9月の数値については第1次速報値。

- 地域経済を支える観光の再生と新たな展開のため、宿泊施設の高付加価値化や新たなビジネス展開や事業再生の支援等による観光産業の収益力向上、デジタルトランスフォーメーション推進による観光サービスの変革を支援する。
- また、ワーケーション等の「新たな旅のスタイル」の普及を促進し、旅行需要の平準化に取り組む。

## 宿泊施設の高付加価値化

(ゆつたりと過ごせる客室への改修支援)



## 旅館の事業再生

Before



After



## ワーケーション・サテライトオフィス

▶電源設備、休憩用のレストルーム等を完備した客室への改装事例



## Wi-Fi環境整備支援



## デジタルトランスフォーメーション

(顔認証を利用した観光地での手ぶら決済のイメージ)



- インバウンド回復までの期間を活用し、デジタルトランスフォーメーションを推進しつつ、魅力的な滞在コンテンツ造成や受入環境整備、バリアフリー化等を進める。

## 新たな生活様式に対応した魅力的なコンテンツ造成



アイヌ古式舞踊や伝統楽器ムックリの体験ツアー  
(独自の感染症対策のマニュアル作成・チェックシートの導入等)

## 地域の自然や文化を深く体験・体感できる先端技術の活用による観光コンテンツの高付加価値化



デジタル技術を活用した観光コンテンツ例  
(専用スーツの着用により雪山や火山帯の体験コンテンツを実現)

## 観光地の受入環境整備



分かりやすく魅力的な  
多言語解説の整備



ICTを活用した  
案内標識の整備



段差解消



観光案内所の整備改良